



iichiko

3/30(土)

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ
第10回定期演奏会

2009年4月に結成され、小学4年生から22歳まで73名が在籍するジュニアオーケストラの、記念すべき第10回定期演奏会。この日のために熱心な練習を重ねてきた団員たちが、渾身の演奏を披露しました。指揮は、今回が3回目となる下野竜也氏。前半のボロディン作曲「だったん人の踊り」、ビゼー作曲「歌劇〈カルメン〉第1組曲・第2組曲(抜粋)」では、おなじみの旋律を奏でるクラリネットやオーボエ、トランペットなどが大活躍し、躍動的な演奏が繰り広げられました。後半はジュニアオーケストラ初のブラームス。下野氏のダイナミックな指揮による「交響曲第2番」は、全楽章を



▲アカデミークラスのメンバーによるロビーコンサート

通じてとても伸びやかな演奏で、とりわけ美しい第2楽章、若々しくエネルギッシュな第4楽章が印象的でした。アンコールの「ハンガリー舞曲第6番」も大いに盛り上がり、地元大分に育つ若き演奏家たちに、温かく大きな拍手がいつまでも続きました。

OPAM

2/2(土)~3/3(日)

国立科学博物館・コラボミュージアム in 大分
「とりになったきょうりゅうのはなし
—OPAMに恐竜がやってきた!—

絵本「とりになったきょうりゅうのはなし」を基に、国立科学博物館が所蔵する化石の標本やレプリカなどで絵本の各場面を再現し、恐竜から鳥への進化を紹介する展覧会。開会式には国立科学博物館の小川義和氏が出席し、コラボミュージアム初の美術館開催であることに触れ、「建物がいいので標本が映えます」と感想を述べられました。また絵本にも登場するメジロをモチーフにした「めじろん」がナビゲートするのもOPAMならではの。同時開催の「飛び出す3D恐竜シアター」は、思わず泣き出してしまう子どもたちもいたほど、大迫力の3D映像でした。



関連事業 2/16(土)講演会

「絵本から始める最新恐竜学！」

恐竜研究の第一人者、国立科学博物館の真鍋真氏による講演会は、展覧会の元となった絵本の読み聞かせから始まりました。クイズや恐竜映画の話題を織り交ぜ、絵や図も豊富に使いながらの講演の中には恐竜に関する最新の真実が満載で、大人も子どもも興味津々。質問タイムでは「ティラノサウルスにはどんな羽毛が生えていたの？」などたくさん質問が飛び出し、どっぷり恐竜の世界に浸りました。



関連事業 2/17(日)特別解説

「恐竜の絵本を読み比べてみよう」

前日に引き続き真鍋氏によるイベントには、多くの家族連れが集まりました。絵本の読み比べによって、恐竜の進化の過程から最新の研究成果に基づく新事実まで様々なことが語られ、ユーモアを交えながらのトークや参加型クイズに会場は大いに盛り上がりしました。恐竜の歴史年表などを制作した、大分で活動する「児童文学と科学読物の会」も真鍋氏と共に絵本の読み聞かせを行いました。



▲メインレイアウト 総延長350m



▲サブレイアウト 総延長50m

OPAM

12/21(金)~24(月・振)

鉄道模型大運転会 2018

日本最初の鉄道「1号機関車」や子どもたちに人気の「新幹線」など、県内の鉄道模型コレクターが収集した16番鉄道模型や庭園鉄道など約370輛が美術館に大集合。総延長350mと50mの長さでレイアウトされた線路を走行しました。また、運転開始から50年を迎えた特急「にちりん」の歩みを写真や資料で紹介するコーナーも設置。4日間で8,000人を超える方々に来場いただきました。